インスリンポンプの世界市場-2028年までの予測

渋谷データカウント

SDKI Inc.は、チューブレスインスリンポンプ市場の新レポートを2022年03月12日
に発刊しました。この調査には、チューブレスインスリンポンプ市場の成長に必要な統計的および分析的アプローチが含まれています。レポートで提供される主要な産業の洞察は、市場の既存のシナリオに関する読者に市場の概要についてのより良いアイデアを提供します。さらに、レポートには、市場の成長に関連する現在および将来の市場動向に関する詳細な議論が含まれています。

インスリンポンプは、自動化され、制御された、正確な方法でインスリンを投与するために使用される医療機器です。これらのデバイスは、持続皮下インスリン注入（CSII）として知られる糖尿病の治療に使用されます。これらのインスリンシステムは、深刻な生命を脅かす状況や、場合によっては患者の死亡につながる医療過誤を回避するのに役立ちます。

IQ4I分析によると、インスリンポンプの世界市場は2021年から2028年まで1桁の高いCAGRで成長し、2028年までに64億1,290万ドルに達すると予想されます。インスリンポンプ市場は、製品、アプリケーション、ポンプユーティリティ、エンドユーザー、および地理。インスリンポンプ製品市場はインスリンポンプと消耗品に分割され、その中でインスリンポンプは2021年に市場の最大のシェアを保持し、2021年から2028年まで高い一桁のCAGRで成長すると予想されます。インスリンポンプはさらに細分化されますテザーインスリンポンプとパッチインスリンポンプは、パッチポンプが2021年に最大のシェアを占め、2021年から2028年まで1桁の高いCAGRで成長すると予想され、テザーポンプ市場は2021年から2028年まで強いCAGRで成長すると予想されます。 。

詳細についてはサンプルをリクエストしてください@https：//www.sdki.jp/sample-request-116513

アプリケーション市場は1型糖尿病と2型糖尿病に分類され、その中で1型糖尿病セグメントは2021年に最大のシェアを占め、2021年から2028年まで1桁の高いCAGRで成長すると予想されます。ポンプユーティリティに基づく市場は使い捨てポンプと耐久性のあるポンプに分割され、そのうち耐久性のあるポンプは2021年に最大の収益を上げ、使い捨てポンプのセグメントは2021年から2028年まで1桁の高いCAGRで成長すると予想されます。使い捨てポンプ市場はさらに完全に使い捨てに細分化されます部分的に使い捨てのポンプ、その中で、完全に使い捨てのセグメントは2021年に最大の収益を記録しました。エンドユーザー市場は病院、外来手術センター、ホームケアなどに分類されます。その中で、在宅医療は2021年に最大のシェアを占め、2021年から2028年にかけて1桁のCAGRが高く、最も急成長しているセグメントになると予想されています。

地理的には、北米が最大の市場であり、ヨーロッパとアジア太平洋がそれに続くシェアを持っています。アジア太平洋地域は最も急速に成長している地域であり、2021年から2028年にかけて低10代のCAGRで成長すると予想され、さまざまな成長機会をもたらし、インスリンポンプ市場の新規投資家の注目を集める可能性があります。アジア市場の成長は、生活習慣病の蔓延と、革新的な技術の確立と高度な医療サービスに対する政府のイニシアチブに起因しています。

インスリンポンプ市場は、2021年から2028年にかけて1桁の高いCAGRで成長すると予想されます。

糖尿病の有病率の増加、在宅ケア環境におけるインスリンポンプの利点、および流通契約、パートナーシップ、コラボレーション活動の増加が推進要因です。市場の成長。新興国における製品承認の増加と市場拡大は、潜在的な機会を提供することが期待されています。

ただし、高コスト、不十分な償還、製品のリコールの増加、プライバシーの懸念、インスリンポンプに関連する安全性の問題などのさまざまな要因が、インスリンポンプの世界市場の成長を制限しています。

Generated by ぷれりりプレスリリース
https://www.prerele.com